

# は 「歯っらっ便り」



コープ歯科まるがめ診療所ニュース 2013年11月 No7

発行：コープ歯科まるがめ診療所 部内資料

## 子どもたちの歯の治療を頑張る気持ちを応援！



### おもちゃをもらおう！



コープ歯科まるがめでは子どもたちに歯科治療を頑張ってもらえればという気持ちを込めて待合室にプレゼント用のおもちゃを設置しました。健診や治療に来られた小学生以下（中学生未満）のお子様を対象に、好きなおもちゃをプレゼントしています。中には治療に入る前に「これが欲しい！」と宣言して元気よく診療室に向かったお子様や最初は嫌で泣いていましたが「頑張ったらおもちゃが貰えるよ」と励ますお母さんの声を聞いたりと少しでも不安な気持ちを和らげればと思います。



診療時間のご案内 (予約優先) ☎0877-58-1888

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
14:00~19:00	○	○	×	○	○	×

ウラも見てネ！

## 歯の豆知識 第七話 インプラント治療の歴史

失われた歯を補う治療法としてはブリッジや義歯が一般的ですが、現在ではあごの骨に人工歯根を植え込むインプラント治療も選択肢のひとつとなっています。最新治療というイメージのあるインプラントですが、実は古くから試みられた歴史ある治療でもあります。

古代中国やエジプトでは象牙の歯が植えられた人骨が発見されており、また南米のインカ文明時代のミイラにはエメラルド製の人工歯根が植えられたものもあるそうです。ヨーロッパでも牛の骨や健康な人の歯を使って人工歯にしていた時代があり、小説「レ・ミゼラブル」には若くて貧しい女性が自分の髪と前歯を売る場面が描かれています。また種々の金属も使用されある程度有効であったようですが、いずれも身体にとってはなじみの良いものではなく排除する作用が働き、長期間使えるものではありませんでした。

今から50年ほど前に、チタンという金属が人の骨と化学的に結合することが解ってから、インプラントの研究は劇的に進みました。現在使用されているほとんどすべてのインプラントがチタン製です。形状や術式も工夫されてきており、現在では正しく処置が行われれば10年以上機能する成功率は90%以上にもなります。

コープ歯科でも扱っておりますのでご興味あればご相談ください。

(コープ歯科まるがめ所長・尾平野将広)



## ～診療所トピックス～

診療所の花壇に「菜の花」を植えました。

10月2日にこれまでお世話になった「緑のカーテン」を撤去しました。今年の夏は記録的な猛暑に加えて雨が少なく、ゴーヤの収穫はそれほど多くありませんでした。しかしそのゴーヤを使って「ゴーヤ茶」を作り来院中の患者様にお飲み頂きました。

その撤去した後には「菜の花」の種を植えました。初めての経験なので今後どのように育っていくかが楽しみです。

